


令和3年度 さいたま市立大谷場小学校 学校関係者評価書

さいたま市立大谷場小学校

学校関係者評価委員長 磯 正 

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数：10名

(2) 実施回数：年間2回

(新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る緊急事態宣言発出のため、2回目は文書による実施)

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

(1) 教育課程の実施・学習指導について

- ・コロナ禍で子どもたちとのふれあいもままならない中でも和気あいあいと学習を進めている様子が伝わり、心が和んだ。
- ・オンライン授業は、先生方の準備が大変だったと思うが、保護者としては対面、オンラインの選択肢ができた。ただ、オンライン授業の参加について、十分な効果が得られるよう、参加の仕方等についても指導の必要があると思われる。

(2) 組織運営、学年・学級経営について

- ・感染防止のため、さまざまな配慮をし、制限がある中努力や工夫を重ねて子供たちの指導に当たっていることにありがたく思う。引き続き、コロナ対策を講じていただければと思う。

(3) 生活習慣・生徒指導・教育相談について

- ・挨拶や言葉遣いについては毎年課題に挙がっているが、児童からすると挨拶については学校内と地域内を一つの枠組みでとらえるのは難しいかもしれない。ただ、児童の将来に向けて培われるものと思うので指導を続けていただきたいと思う。
- ・保護者と教職員、児童の間に意見のギャップがあると感じた。
- ・地域も保護者も何が正解なのか判断しかねる状況がずっと続いているが、子どもたちは日々成長している。子どもの目線から周囲の大人はどう見えているのか、今だからこそ意識しておくべきではないか。

(4) 学校安全

- ・登下校時の安全対策の徹底も求められていると思う。
- ・不審者の侵入防止対策に対し、否定的な意見も見受けられる。万が一の事態が発生しないよう、引き続き「学校、家庭、地域」の連携等による危険の軽減対策が必要と思われる。

(5) 地域・保護者との連携について

- ・地域連携について学校は十分努力している姿勢が伺える。地域としても積極的に協力していきたいと考えているがコロナ禍で制限されていることが残念である。
- ・令和3年度の学校評価結果で、93%以上の肯定的回答を得られたのは、学校とスクールサポートの皆様の努力の結果だと思う。
- ・育成会の行事は3年度も行うことができず残念だが、下校時の見守りは続けていきたい。
- ・「よくわからない、判断が難しい、答えにくい」の割合が他の項目に比べると多かった。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・不審者の侵入防止対策については、毎年教職員で警察署から指導者を招いて「防犯訓練」を実施しているが、その様子を伝えるとともに、防犯見守りボランティアや警備員等と連携し、いろいろなケースを想定し、より安心、安全な学校となるよう研修を重ね、万が一の事態に備えていく。
- ・コロナ禍で保護者や地域の方々と連携して教育活動を進めているということが分かりにくい部分があったようだ。以前のような活動ができないところも多かったが、工夫をしてより一層子どものためになる活動をし、伝える努力もしていく。

さいたま市立大谷場小学校長 渡部 智昭



<様式2>

※ A4 1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。